

新奨学生に30人が決定！

2023年度の「公益財団法人 HIOKI 奨学・緑化基金」の新奨学生に、30名の方が採用されました。

新たに採用された奨学生の皆さま、おめでとうございます。

皆さまの大学生活が、実りある充実したものとなりますことを心よりお祈り申し上げます。



さて、「公益財団法人 HIOKI 奨学・緑化基金」では、今年度新たに、「HIOKI財団 通信」を発行することと致しました。（財団の略称として「HIOKI財団」を用いることといたします）

大学院奨学生採用面接の際などで、奨学生の皆さんから、「奨学生同士の情報交換の場のようなものがあたらいいのに」など、建設的な提案を頂いています。そこで、奨学生の皆さんの研究や近況等を交流したり、本財団からのお知らせを提供する場として、HIOKI財団の関係の方々に、年2回程度発行したいと思います。心ある方は是非、原稿を寄稿していただければ幸いです。

今回は、奨学生の皆さんの本年4月の近況報告について、許可を得て掲載させていただきます。

信州大学 工学部 2年 H.W

2年生に進級して、大学のキャンパスが松本から長野へ移動したことで、心機一転、また新鮮な気持ちで授業に取り組むことができています。1年生の時は、教養科目の講義がほとんどで、化学の授業は週2回と少なめでした。それでも満遍なく様々な講義を受けられたことで、幅広い知識を得ることが出来たと思います。

そして、2年生からは化学系の必修科目が一気に増え、実験の授業もついに始まります。どんな実験ができるのか、とても楽しみです。それと同時に、グループワークが非常に重要になってくると思うので、協調性も大切にしながら臨みたいと思っています。そして、一つ一つの授業の重みは昨年度よりもだいぶ大きくなると思うので、より予習復習を大切に一生懸命取り組んでいこうと考えています。

また2か月あった春休みでは、1年生のうちに学んだ部分を復習したり、所属しているスノーボードサークルの活動に積極的に参加したりして、有意義な時間を過ごすことができました。

名古屋大学 理学部 3年 R.M

理学部生命理学科に配属され一年経ち、徐々に専門的な内容を学ぶことが多くなりました。生物未履修者であることもあり、ひとりで理解することは非常に困難なため、友人と協力して勉強に取り組んでいます。

それもあって、現在は単位数に余裕があり、良い成績を維持することができています。また学生実習で実験にも多数取り組み、生命理学の中でも多くの分野があることを改めて知ることができました。

サークルや部活動には所属していませんが、昨年春頃にアルバイトをはじめ、現在も継続して取り組んでいます。学業との両立も順調です。

現在は、3年秋学期の研究室配属のために、様々な研究室に見学に伺い、自分がどのような研究をしたいのか、探っている最中です。

植樹活動もしています！

HIOKI 財団では、奨学金給付事業と併せて緑化事業も行っています。1995 年より「ふるさとの森づくり」支援事業として、緑あふれる豊かな環境を次代の子どもたちにも伝えようと、植樹活動を実施してきています。

今年度は、千曲市大池市民の森植樹祭にエノキ他11種苗 1000 本を、野沢温泉村つつじ山公園の再生・整備のためにヤマツツジ 300 本を寄贈しました。また、青木村修那羅峠付近の沿線にしだれ桜10本・松 200 本を、そして長和町のSGEC 認証森林で行われた「UE森（うえもり）2023～上田地域にぎやかな森づくり植樹の集い～」にカラマツ苗木2300本を寄贈しました。美しい緑の森が少しずつ広がっていきます。



この春に大学卒業・大学院修士課程修了した奨学生の方からの報告です。

東京農工大学 工学部 卒業 Y.Y

大学 4 年間はいろいろなことに挑戦できました。研究活動では、自分で立ち上げた研究で初の学会に参加したり、大学生生活最後の 3 月にも国内学会と国際学会の論文をそれぞれ 1 本ずつ書くなど、自分が納得するまで研究ができました。勉学では、自分の研究分野以外の学問を履修したり、3 か国語目の中国語で 4 級を取得するなど、たくさんの知識を得ることができました。私は留学を経験し、周りの人にとっても積極的に話し掛けられるようになりました。それによって、たくさんの外国の友人を作ることができました。毎日、忙しくて目の前のことを諦めたいと思うことも何度もありましたが、やりたいことはすべて挑戦することができたと思います。

貴財団から支援いただいた奨学金は、私の専門のロボット工学の勉強教材、グローバル人材になるための留学などに使わせていただきました。奨学金のご支援があり、今では研究と学業に集中して取り組むことができています。将来はHIOKI様の理念にあるように、「社会への貢献」をするために、私の研究を進め、社会に製品として還元できるように努力致します。

大学 4 年間、奨学金をご支援いただき、誠にありがとうございました。

(東京農工大学 大学院 進学)

秋田大学 大学院工学研究科 修了 N.T

秋田大学大学院で過ごした博士前期課程は、非常に充実したものでした。私は博士後期課程への進学を予定していた事もあり、研究と勉強に総力を注いだ 2 年間でした。特にHIOKI奨学・緑化基金の奨学生として採用していただいたことで、アルバイトに大きな時間を割かれることもなく、研究活動に全力を注ぐことができました。その結果、国内外の学会発表に多数参加し、学生優秀講演賞をいただくこともでき、研究者としての素養を少しずつですが得られたと自負しております。また研究活動を行う中で、研究室の同期や後輩・先生など、多くの方々とのコミュニケーションを取り協力して目標を達成することの難しさ、そして楽しさを学べた時間でもありました。これまでの 24 年間で振り返っても、自分のやりたいことだけに打ち込めた大学院 2 年間は、とても貴重で楽しいものでした。今後も初心を忘れず、学問に打ち込んでいきたいと思っています。

学部 1 年から大学院 2 年までの 6 年間にわたり、奨学生として受けた多大なるご支援、心より感謝申し上げます。経済的事情で、一時は大学院への進学を諦めようかと悩んだ時期もありました。私が充実した大学・大学院生活を送り、博士後期課程の進学まで決心できたのは、ひとえにHIOKI財団様の奨学生として採用していただいたからです。これからも、模範となる人材であり続けられるよう精進して参ります。6 年間ありがとうございました。

(早稲田大学 理工学術院博士後期課程 進学)